

第17期

運用報告書(全体版)

DCワールド・ソブリンインカム 確定拠出年金専用

【2023年2月27日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「DCワールド・ソブリンインカム」は、2023年2月27日に第17期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2006年2月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	当ファンドは、ワールド・ソブリンインカムマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に分散投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、実質外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準、経済的合理性等を勘案して決定します。分配金は、決算日の基準価額で再投資します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
13期(2019年2月25日)	13,119	0	1.3	417.33	2.4	91.3	—	94
14期(2020年2月25日)	13,775	0	5.0	443.44	6.3	90.7	—	105
15期(2021年2月25日)	13,720	0	△0.4	447.49	0.9	94.2	—	105
16期(2022年2月25日)	13,597	0	△0.9	450.47	0.7	93.9	—	112
17期(2023年2月27日)	13,274	0	△2.4	450.23	△0.1	95.4	—	104

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首) 2022年2月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	13,597	—	450.47	—	93.9	—
2月末	13,584	△0.1	451.71	0.3	94.0	—
3月末	13,993	2.9	461.62	2.5	93.6	—
4月末	13,964	2.7	461.63	2.5	89.8	—
5月末	13,901	2.2	460.12	2.1	93.4	—
6月末	14,063	3.4	470.43	4.4	88.2	—
7月末	14,259	4.9	471.98	4.8	86.5	—
8月末	14,018	3.1	467.83	3.9	89.1	—
9月末	13,671	0.5	461.25	2.4	85.7	—
10月末	13,938	2.5	472.46	4.9	83.8	—
11月末	13,657	0.4	460.81	2.3	87.3	—
12月末	13,009	△4.3	442.93	△1.7	83.0	—
2023年1月末	13,236	△2.7	445.85	△1.0	88.3	—
(期末) 2023年2月27日	13,274	△2.4	450.23	△0.1	95.4	—

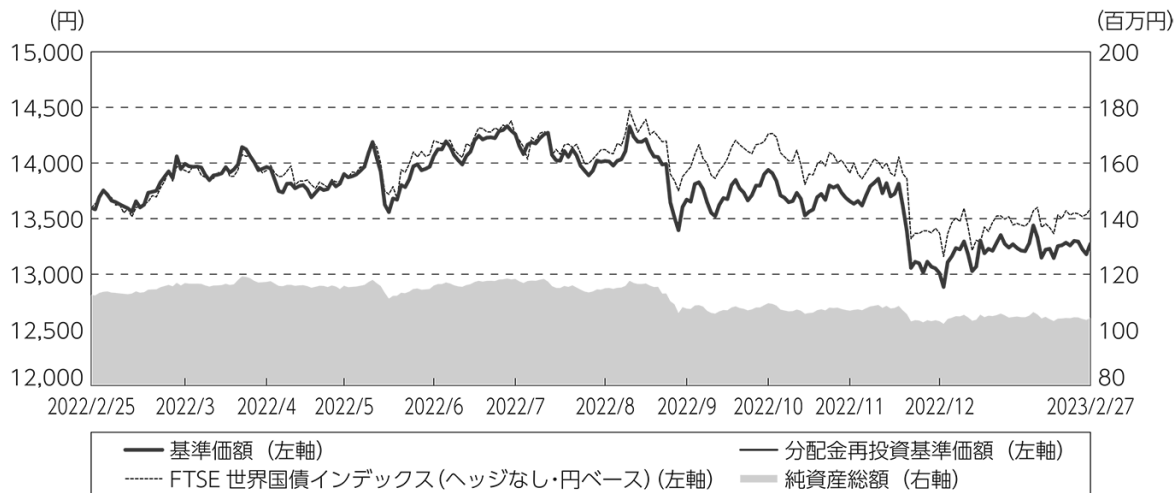
(注) 騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年2月26日～2023年2月27日)



期首：13,597円

期末：13,274円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 2.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2022年2月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米ドルを筆頭に投資している全ての外国通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米国債を筆頭に投資国の債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。

投資環境

(2022年2月26日～2023年2月27日)

＜投資国の債券市場＞

海外の債券市場では、ロシアのウクライナへの軍事侵攻などを背景にインフレ懸念が急速に高まる中、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）などの主要中央銀行が利上げに転じるとともに、その後大幅な利上げを継続する姿勢を示したことなどから、2022年10月下旬にかけて、投資国の国債利回りが大幅に上昇（価格は下落）する展開となりました。その後は、米国においてインフレ率が鈍化したことや、2023年に入りFRBによる早期の利上げ打ち止め観測が台頭したことを受けて、米国債主導で投資国の国債利回りが低下（価格は上昇）する場面も見られました。しかし、2月に入ると、事前予想を上回る米国の経済指標の発表が相次いだことから、FRBによる利上げ局面が長期化するとの観測が強まり、再び利回り上昇を試す動きとなりました。ユーロ圏では、天然ガス価格の急落や中国のゼロコロナ政策撤廃を受けて景気回復期待が高まったことに加え、複数のECB高官が利上げに積極的な発言を繰り返したことから、期末にかけて国債利回りの上昇が鮮明となりました。また、日本では、2022年12月に日銀が長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）における長期金利の許容上限を引き上げたことから、10年国債利回りが上昇しました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、イタリアを筆頭に全ての投資国で上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では、日銀と海外の主要中央銀行との金融政策スタンスの違いから内外金利差が急拡大したことに加え、資源価格上昇に伴う日本の貿易赤字拡大を受けて、米ドルが対円で一時32年ぶりの高値となる152円近辺に急伸するなど、2022年10月下旬にかけて急速かつ大幅な円安が進行しました。しかしその後は、政府・日銀が大規模な「円買い・米ドル売り」介入を実施したこと、海外金利が低下に転じたこと、日銀がYCCの修正に踏み切ったことなどをを受けて、円が対米ドルを中心に急反発する展開となりました。2023年2月以降は、海外金利が再び上昇に転じる中、投資通貨に対し円が軟調に推移しました。この結果、当期においては、米ドルを筆頭に投資している全ての外国通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年2月26日～2023年2月27日)

＜DCワールド・ソブリンインカム＞

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

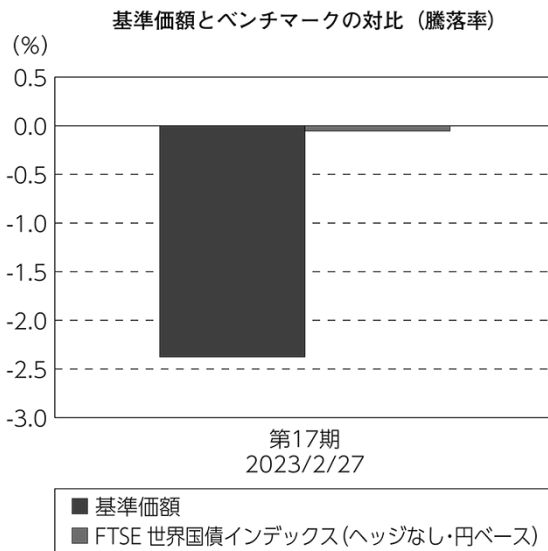
8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.88年～8.43年の範囲内での推移となり、期末は7.95年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は80.5%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドルは高め、円、ユーロは低めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

[※]デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きいく程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年2月26日～2023年2月27日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を2.3%下回りました。債券要因では、投資国の債券利回りの上昇が鮮明となる中、ベンチマークと比較し、相対的に利回り上昇幅が大きかった海外債券の投資比率を高め維持したことや、米国債のデュレーションを総じて長めで推移させたことがマイナスとなりました。為替要因では、概ねベンチマークと同程度のパフォーマンスとなりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

(2022年2月26日～2023年2月27日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期間におきましては、基準価額水準、分配可能額、経済的合理性を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第17期
	2022年2月26日～ 2023年2月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,671

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

海外の債券市場では、FRBとECBがインフレ抑制を最優先し利上げを継続する方針を示していることから、利上げ局面が長期化すると観測を背景に、引き続き利回り上昇を試す場面があると見ています。しかし、これまでの急速かつ大幅な金融引き締めが今後の各国経済の下押し要因として働いてくると予想しており、各投資国の債券利回りの上昇が抑制される展開になると考えています。一方、日本では今後日銀がYCCの修正または撤廃に踏み切る公算が高く、利回り上昇余地が残されていると判断しています。

為替市場では、海外金利の高止まりを受けて内外金利差が高水準で推移すると見込まれることから、今後も円安傾向が継続する可能性が高いと判断しています。一方、2022年9月に日銀が為替介入を実施して以降、日々の円相場の変動率拡大が顕著となっていることや、日銀によるYCCの修正や撤廃が視野に入っていることから、短期的に円高圧力が強まる場面もあると考えています。

(運用方針)

<DCワールド・ソブリンインカム>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2022年2月26日～2023年2月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	129	0.940	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(49)	(0.354)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(73)	(0.531)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.025	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	132	0.965	
期中の平均基準価額は、13,774円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

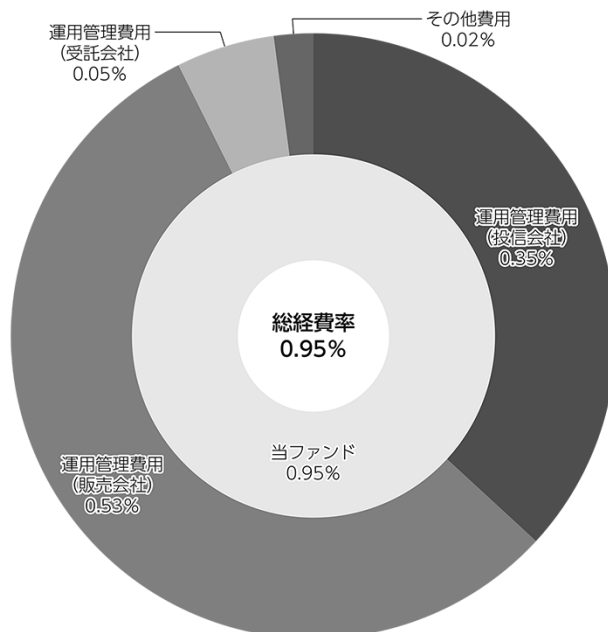
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月26日～2023年2月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 2,867	千円 6,030	千口 6,106	千円 12,813

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月26日～2023年2月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 54,203	千口 50,964	千円 103,718

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年2月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 103,718	% 98.9
コール・ローン等、その他	1,113	1.1
投資信託財産総額	104,831	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(51,093,490千円)の投資信託財産総額(58,994,126千円)に対する比率は86.6%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=136.27円、1カナダドル=100.22円、1ユーロ=143.75円、1イギリスポンド=162.94円、1オーストラリアドル=91.70円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	104,831,093
コール・ローン等	1,112,922
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(評価額)	103,718,171
(B) 負債	520,077
未払信託報酬	512,896
その他未払費用	7,181
(C) 純資産総額(A－B)	104,311,016
元本	78,582,922
次期繰越損益金	25,728,094
(D) 受益権総口数	78,582,922口
1万口当たり基準価額(C/D)	13.274円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.3274円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は82,727,429円、期中追加設定元本額は6,927,161円、期中一部解約元本額は11,071,668円です。

○損益の状況 (2022年2月26日～2023年2月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 164
受取利息	3
支払利息	△ 167
(B) 有価証券売買損益	△ 1,570,530
売買益	249,609
売買損	△ 1,820,139
(C) 信託報酬等	△ 1,064,701
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,635,395
(E) 前期繰越損益金	5,952,355
(F) 追加信託差損益金	22,411,134
(配当等相当額)	(41,848,373)
(売買損益相当額)	(△19,437,239)
(G) 計(D+E+F)	25,728,094
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	25,728,094
追加信託差損益金	22,411,134
(配当等相当額)	(41,857,817)
(売買損益相当額)	(△19,446,683)
分配準備積立金	18,429,338
繰越損益金	△15,112,378

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

	決算期	第17期
(a) 配当等収益(費用控除後)		1,237,557円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)		0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金		41,857,817円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金		17,191,781円
分配対象収益(a+b+c+d)		60,287,155円
分配対象収益(1万口当たり)		7,671円
分配金額		0円
分配金額(1万口当たり)		0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

下記は、ワールド・ソブリンインカム マザーファンド全体(26,645,214千円)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	1,500,000	1,442,610	2.7	—	2.7	—	—	
合 計	1,500,000	1,442,610	2.7	—	2.7	—	—	

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第363回利付国債 (10年)	0.1	500,000	481,360	2031/6/20
第364回利付国債 (10年)	0.1	1,000,000	961,250	2031/9/20
合 計		1,500,000	1,442,610	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 192,000	千米ドル 183,393	千円 24,991,055	% 46.1	% —	% 26.4	% 13.7	% 6.0
カナダ	千カナダドル 34,000	千カナダドル 30,870	3,093,797	5.7	—	3.0	2.7	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	30,000	25,265	3,631,924	6.7	—	6.7	—	—
イタリア	62,000	46,720	6,716,066	12.4	—	9.3	3.1	—
フランス	36,000	31,376	4,510,404	8.3	—	7.0	1.3	—
イギリス	千イギリスポンド 13,000	千イギリスポンド 13,512	2,201,658	4.1	—	4.1	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 64,000	千オーストラリアドル 59,263	5,434,494	10.0	—	4.6	1.4	4.0
合 計	—	—	50,579,400	93.3	—	61.0	22.3	10.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

DCワールド・ソブリンインカム

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	26,000	24,007	3,271,480	2027/2/15
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	16,000	12,097	1,648,526	2041/5/15
		US TREASURY N/B 2.875	2.875	11,000	10,073	1,372,728	2032/5/15
		US TREASURY N/B 3	3.0	18,000	15,038	2,049,287	2052/8/15
		US TREASURY N/B 3.625	3.625	19,000	17,975	2,449,559	2053/2/15
		US TREASURY N/B 3.875	3.875	31,000	30,479	4,153,413	2027/12/31
		US TREASURY N/B 4	4.0	7,000	7,082	965,068	2052/11/15
		US TREASURY N/B 4.125	4.125	20,000	20,246	2,759,041	2032/11/15
		US TREASURY N/B 4.375	4.375	24,000	23,764	3,238,413	2024/10/31
		US TREASURY N/B 6.25	6.25	20,000	22,628	3,083,534	2030/5/15
小 計						24,991,055	
カナダ	国債証券	CANADA-GOV' T 2	2.0	12,000	10,678	1,070,229	2032/6/1
		CANADA-GOV' T 2	2.0	7,000	5,321	533,331	2051/12/1
		CANADA-GOV' T 3.75	3.75	15,000	14,869	1,490,236	2025/5/1
小 計						3,093,797	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0	—	26,000	20,845	2,996,578	2032/2/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	4,000	4,419	635,346	2028/7/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.85	0.85	13,000	11,636	1,672,736	2027/1/15
		BTPS 0.9	0.9	29,000	22,598	3,248,581	2031/4/1
		BTPS 2.15	2.15	20,000	12,485	1,794,747	2052/9/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	13,000	8,872	1,275,384	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	18,000	17,540	2,521,467	2030/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	5,000	4,963	713,553	2027/10/25
小 計						14,858,395	
イギリス	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	3,000	3,138	511,364	2032/6/7
		UK TSY GILT 4.25	4.25	7,000	7,146	1,164,372	2039/9/7
		UK TSY GILT 4.75	4.75	3,000	3,227	525,921	2030/12/7
小 計						2,201,658	
オーストラリア	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1.25	1.25	7,000	5,613	514,733	2032/5/21
		AUSTRALIAN GOVT. 1.75	1.75	13,000	10,816	991,886	2032/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 2.75	2.75	24,000	23,733	2,176,349	2024/4/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	12,000	10,755	986,255	2039/6/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.75	4.75	8,000	8,345	765,269	2027/4/21
小 計						5,434,494	
合 計						50,579,400	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第20期 運用状況のご報告
決算日：2022年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
16期(2018年3月26日)	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—	83,339
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051
18期(2020年3月25日)	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—	90,359
19期(2021年3月25日)	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—	84,082
20期(2022年3月25日)	21,164	2.0	461.28	1.9	90.7	—	69,040

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

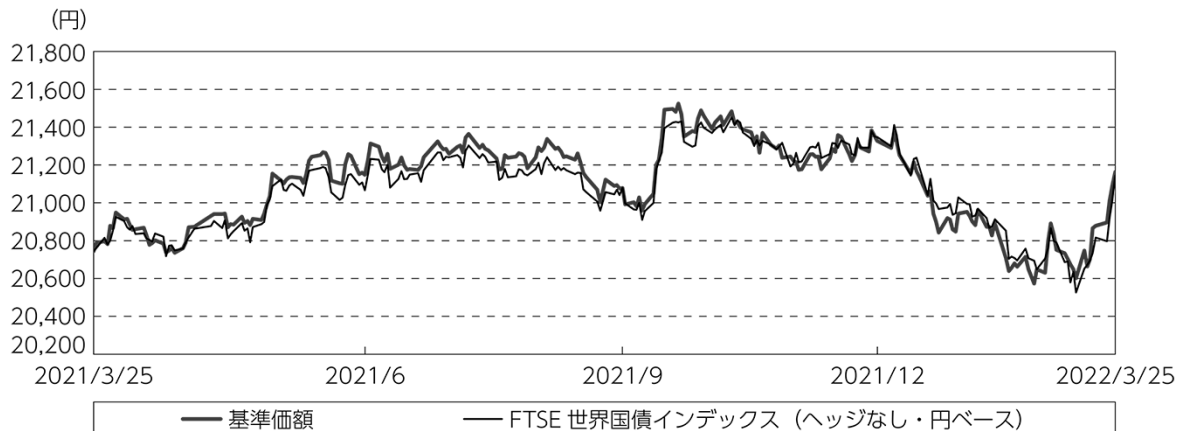
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2021年3月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	20,744	—	452.56	—	89.9	—
3月末	20,878	0.6	453.78	0.3	89.9	—
4月末	20,874	0.6	455.16	0.6	93.3	—
5月末	21,117	1.8	460.85	1.8	92.8	—
6月末	21,148	1.9	459.60	1.6	90.1	—
7月末	21,259	2.5	463.39	2.4	94.5	—
8月末	21,293	2.6	462.75	2.3	95.5	—
9月末	21,078	1.6	459.88	1.6	88.7	—
10月末	21,461	3.5	466.81	3.1	91.6	—
11月末	21,223	2.3	462.68	2.2	89.7	—
12月末	21,327	2.8	465.72	2.9	91.2	—
2022年1月末	20,952	1.0	458.02	1.2	95.6	—
2月末	20,631	△0.5	451.71	△0.2	94.5	—
(期末) 2022年3月25日	21,164	2.0	461.28	1.9	90.7	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年3月26日～2022年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) です。

(注) ベンチマークは、期首 (2021年3月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米ドルを筆頭に全ての投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米国やユーロ圏を中心に全ての投資国において債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。

投資環境

(2021年3月26日～2022年3月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、ユーロ圏における復興基金調達のための大規模な債券発行計画の発表などを受けて、ユーロ圏の債券利回り上昇（価格は下落）が先行する展開となりました。しかし、新型コロナウイルスの変異株（デルタ株）の世界的な感染拡大等を受けて、世界経済の回復ペース鈍化への懸念が高まったことなどから、2021年5月下旬から8月上旬にかけては、投資国の債券利回りが低下（価格は上昇）しました。その後、米連邦準備制度理事会（FRB）を筆頭に各中央銀行が金融政策の正常化に前向きな姿勢を示したことから、利回りは上昇に転じました。11月下旬以降は、新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）の感染拡大懸念から利回り低下が優勢となる場面も見られましたが、2022年に入ると、FRBが利上げペースの加速や保有資産の早期縮小に踏み切るとの観測が強まったことなどを受けて、投資国の債券利回り上昇が鮮明となりました。2月下旬から3月上旬にかけては、ロシアによるウクライナ侵攻を受けてリスク回避の動きが強まり、各投資国とも利回り上昇幅を縮小する動きが見られました。しかしその後は、世界的なインフレ懸念の高まりに加え、パウエルFRB議長が利上げペースを一段と加速させる姿勢を示したことなどを受けて、投資国の債券利回りが急上昇する展開となりました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、イタリアを筆頭に全ての投資国で上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では、世界経済の回復期待の高まりなどを背景に、2021年6月上旬にかけては米ドル以外の投資通貨に対し円が軟調に推移しました。しかしその後、米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受けて円を除く投資通貨に対し米ドルの上昇圧力が強まる中、米ドルは対円で狭いレンジ内でもみ合いに終始する一方、米ドル以外の投資通貨は対円で下落する展開となりました。その後、内外金利差の拡大や原油価格上昇に伴う日本の貿易収支の悪化観測を背景に、10月には投資通貨に対し円安が進行しましたが、11月には急速な円安に対する反動やオミクロン株の感染拡大懸念から、投資通貨に対し円高が進行するなど、不安定な動きが続きました。2022年に入ると、海外金利の大幅な上昇や原油価格上昇が円安要因として働く一方、世界的な株安やウクライナ情勢の緊迫化が円高要因として意識され、各投資通貨が対円で上下する展開となりました。しかし、期末にかけては、海外金利が急上昇する中、日銀の黒田総裁が現状の金融緩和策を継続する姿勢を鮮明にしたことなどから、投資通貨に対し急速な円安が進行しました。この結果、当期においては、カナダドルを筆頭に全ての投資通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年3月26日～2022年3月25日)

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.75年～8.78年の範囲内での推移となり、期末は7.47年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は79.9%～95.7%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高め、米ドルは同程度、円とユーロは低めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年3月26日～2022年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.1%上回りました。債券要因では、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションをベンチマークと比較し短めで推移させましたが、相対的に利回り上昇幅が大きかった海外債券の投資比率が高かったことがマイナスとなりました。一方、為替要因では、投資通貨に対し円安が進行する中、ベンチマークと比較し外貨の投資比率を総じて高めに維持したことがプラスとなりました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、FRBを筆頭に各中央銀行が利上げに前向きなタカ派姿勢を一段と鮮明にしており、引き続き利回り上昇への警戒が必要な局面と判断しています。また、ウクライナ情勢の混迷が続く中、各中央銀行の金融政策や景気の先行きに対する不透明感が強く、各国の債券市場は当面不安定な推移となる可能性が高いと見ています。

為替市場では、海外の中央銀行と日銀の金融政策スタンスの違いによる内外金利差拡大や、原油等の資源価格上昇に伴う日本の貿易収支悪化を背景に、円安基調が継続する可能性が高いと判断しています。ただ、急速な円安が進行する中、投機的な円売りポジションが増加している可能性もあり、日本政府からの円安を牽制する発言等を受けて、一時的に円高圧力が強まる場面もあると見ています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年3月26日～2022年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.011	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.011	
期中の平均基準価額は、21,103円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2021年3月26日～2022年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 9,042,405	千円 11,555,220
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 561,231	千米ドル 549,771 (70,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 150,110	千カナダドル 117,389 (15,000)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
国	ドイツ	国債証券	54,118	38,852
	イタリア	国債証券	38,995	69,432
	フランス	国債証券	46,744	67,503
	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 31,582	千イギリスポンド 37,937 (4,000)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 388,622	千オーストラリアドル 378,473

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月26日～2022年3月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	141,669	—	—	144,904	1,004	0.7

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2022年3月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	4,000,000	3,916,940	5.7	—	5.7	—	—	
合 計	4,000,000	3,916,940	5.7	—	5.7	—	—	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第363回利付国債 (10年)	0.1	500,000	494,795	2031/6/20
第364回利付国債 (10年)	0.1	1,000,000	988,390	2031/9/20
第365回利付国債 (10年)	0.1	1,500,000	1,480,725	2031/12/20
第173回利付国債 (20年)	0.4	1,000,000	953,030	2040/6/20
合 計		4,000,000	3,916,940	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 230,000	千米ドル 230,459	千円 28,132,166	% 40.7	% —	% 20.8	% 14.6	% 5.4
カナダ	千カナダドル 45,000	千カナダドル 44,326	4,313,458	6.2	—	0.9	0.8	4.5
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	44,000	44,434	5,969,764	8.6	—	8.6	—	—
イタリア	35,000	34,124	4,584,599	6.6	—	2.7	1.9	2.0
フランス	55,000	61,979	8,326,879	12.1	—	9.7	2.4	—
イギリス	千イギリスポンド 19,000	千イギリスポンド 24,618	3,962,078	5.7	—	5.2	0.5	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 40,000	千オーストラリアドル 37,089	3,397,785	4.9	—	4.9	—	—
合 計	—	—	58,686,733	85.0	—	52.8	20.2	11.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	国債証券	US TREASURY N/B 1.375	1.375	28,000	25,585	3,123,160	2031/11/15
		US TREASURY N/B 1.875	1.875	25,000	24,392	2,977,602	2027/2/28
		US TREASURY N/B 1.875	1.875	20,000	17,178	2,096,933	2051/11/15
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	28,000	27,765	3,389,388	2027/2/15
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	16,000	14,977	1,828,303	2041/5/15
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	24,000	22,530	2,750,237	2052/2/15
		US TREASURY N/B 2.875	2.875	30,000	30,379	3,708,448	2023/11/30
		US TREASURY N/B 2.875	2.875	30,000	30,417	3,713,026	2025/4/30
		US TREASURY N/B 6.25	6.25	29,000	37,233	4,545,066	2030/5/15
小 計						28,132,166	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADA-GOV'T 1.75	1.75	32,000	32,004	3,114,355	2023/3/1
		CANADA-GOV'T 2	2.0	7,000	6,315	614,524	2051/12/1
		CANADA-GOV'T 2.25	2.25	6,000	6,007	584,578	2025/6/1
小 計						4,313,458	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0	—	10,000	9,553	1,283,553	2031/8/15
		DEUTSCHLAND REP 0	—	26,000	24,671	3,314,637	2032/2/15

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	8,000	10,208	1,371,573	2028/7/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.85	0.85	10,000	9,868	1,325,765	2027/1/15
		BTPS 0.9	0.9	15,000	13,722	1,843,631	2031/4/1
		BTPS 4.5	4.5	10,000	10,533	1,415,202	2023/5/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	11,000	11,200	1,504,850	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	27,000	30,823	4,141,133	2030/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	7,000	7,875	1,058,109	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	10,000	12,078	1,622,786	2025/10/25
小 計						18,881,244	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	10,000	13,577	2,185,195	2039/9/7
		UK TSY GILT 4.75	4.75	7,000	8,835	1,421,924	2030/12/7
		UK TSY GILT 5	5.0	2,000	2,205	354,959	2025/3/7
小 計						3,962,078	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1	1.0	14,000	11,925	1,092,454	2031/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 1.25	1.25	15,000	12,988	1,189,876	2032/5/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.75	4.75	11,000	12,176	1,115,454	2027/4/21
小 計						3,397,785	
合 計						58,686,733	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 62,603,673	% 90.7
コール・ローン等、その他	6,437,165	9.3
投資信託財産総額	69,040,838	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (59,180,486千円) の投資信託財産総額 (69,040,838千円) に対する比率は85.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=122.07円、1カナダドル=97.31円、1ユーロ=134.35円、1イギリスポンド=160.94円、1オーストラリアドル=91.61円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	69,040,838,589
コール・ローン等	5,941,836,551
公社債(評価額)	62,603,673,291
未収利息	381,927,175
前払費用	113,401,572
(B) 負債	21,727
未払利息	937
その他未払費用	20,790
(C) 純資産総額(A-B)	69,040,816,862
元本	32,622,063,563
次期繰越損益金	36,418,753,299
(D) 受益権総口数	32,622,063,563口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,164円

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.1164円です。
- (注) 当ファンドの期首元本額は40,534,004,851円、期中追加設定元本額は36,204,621円、期中一部解約元本額は7,948,145,909円です。
- (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣) | 31,311,560,008円 |
| Wソブリン毎月分配型 (一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付) | 567,349,130円 |
| 私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用) | 343,826,320円 |
| ワールド・ソブリンインカム (1年決算型) | 224,362,228円 |
| ソブリンオープン (適格機関投資家専用) | 120,362,738円 |
| DCワールド・ソブリンインカム | 54,603,139円 |

○損益の状況 (2021年3月26日～2022年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,073,521,487
受取利息	2,070,570,683
その他収益金	3,985,866
支払利息	△ 1,035,062
(B) 有価証券売買損益	△ 429,845,714
売買益	6,778,767,343
売買損	△ 7,208,613,057
(C) その他費用等	△ 8,460,506
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,635,215,267
(E) 前期繰越損益金	43,548,231,312
(F) 追加信託差損益金	40,037,255
(G) 解約差損益金	△ 8,804,730,535
(H) 計(D+E+F+G)	36,418,753,299
次期繰越損益金(H)	36,418,753,299

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

〈当ファンドのベンチマークについて〉

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。